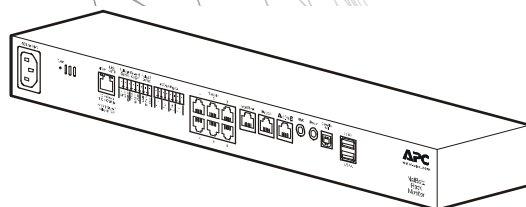
据付 / クイック環境設定マニュアル

NetBotz®
Rack Monitor 450/550/570

NBRK0450
NBRK0550
NBRK0570

This manual is available in English on the enclosed CD.

Dieses Handbuch ist in Deutsch auf der beiliegenden CD-ROM verfügbar.

Este manual está disponible en español en el CD-ROM adjunto.

Ce manuel est disponible en français sur le CD-ROM ci-inclus.

Questo manuale è disponibile in italiano nel CD-ROM allegato.

本マニュアルの日本語版は同梱の CD-ROM からご覧になれます。

O manual em Português está disponível no CD-ROM em anexo.

Ilpqoriuh~ nm hpnmj{gmb`lh} l` orppimk ~gzie nohj`c`eqp~ l` dhpie (CD).

您可以从包含的 CD 上获得本手册的中文版本。

동봉된 CD 안에 한국어 매뉴얼이 있습니다 .

目次

はじめに

製品の説明

Schneider Electric NetBotz® Rack Monitor 570、Rack Monitor 550 および Rack Monitor 450 は、NetBotz セキュリティ / 環境監視システムの中枢となるハードウェア機器として機能します。この機器はラック収納型で、APC 環境センサーや他のサードパーティ製センサーを接続するための複数のポートを備えています。またこの機器には、他のデバイスに給電するため、あるいはこれらのデバイスを制御するための複数のポートも含まれています。NetBotz 570、550、または 450 を使用することにより、監視の範囲を拡げることができます。NetBotz 570 または 550 では 12 台までの NetBotz センサー ポッドを追加でき、NetBotz 450 では 2 台までの NetBotz センサー ポッドを追加できます。

本文書の概要

『*NetBotz Rack Monitor 450/550/570 据付 / クイック環境設定マニュアル*』では、NetBotz Rack Monitor 450、550、570 の据付方法、これらの機器へのデバイスの接続方法、およびネットワークの設定方法を説明しています。本マニュアルの環境設定手順を実行すると、ソフトウェア インターフェイスを介してシステムにアクセスし、システムの他の環境設定を行って環境の監視を開始できるようになります。

その他のマニュアル

別途記載がある場合を除き、下記の文書が用意されています。これらの文書はデバイスに付属の CD に収録されています。また APC Web サイト (**www.apc.com**) の当該製品のページからも入手できます。検索フィールドに目的の製品の名称または部品番号を入力すると、該当の製品のページを容易に検索できます。

NetBotz アプライアンス ユーザーズ ガイド – NetBotz システムを次の機器のいずれかと併用する場合の使用、管理、環境設定の全手順が詳しく記載されています : NetBotz Room Monitor 355 (NBWL0355、NBWL0356)、NetBotz Rack Monitor 450 (NBRK0450)、NetBotz Room Monitor 455 (NBWL0455、NBWL0456)、NetBotz Rack Monitor 550 (NBRK0550)、または NetBotz Rack Monitor 570 (NBRK0570)。

追加オプション

この 機器 には、次のオプションがあります。それぞれのオプションの詳細については、お買い上げいただいた APC 製品の営業担当または販売店までお問い合わせください。

- NetBotz Camera Pod 160 (NBPD0160)
- NetBotz ラック センサー ポッド 150 (NBPD0150)
- NetBotz ルーム センサー ポッド 155 (NBPD0155)
- Temperature Sensor (AP9335T)
- Temperature/Humidity Sensor (AP9335TH)
- Temperature Sensor with Digital Display (AP9520T)
- Temperature/Humidity Sensor with Digital Display (AP9520TH)

- Alarm Beacon (AP9324)
- NetBotz Spot Fluid Sensor (NBES0301)
- NetBotz Door Switch Sensor for Rooms or Third Party Racks (NBES0302)
- NetBotz Door Switch Sensor for APC Racks (NBES0303)
- NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304)
- NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305)
- NetBotz Vibration Sensor (NBES0306)
- NetBotz Smoke Sensor (NBES0307)
- NetBotz Rope Leak Sensor (NBES0308)
- NetBotz Rope Leak Extension (NBES0309)
- NetBotz Particle Sensor PS100 (NBES0201)
- NetBotz USB-to-Serial Cable (NBAC0226)
- Power Supply 100-230 VAC/24 VDC (AP9505i)
- NetBotz 4-20mA センサー ポッド (NBPD0129)
- NetBotz CCTV Adapter 120 with USB Cable (NBPD0123)
- NetBotz センサー ポッド 120 (NBPD0122)
- NetBotz Camera Pod 120 (NBPD0121)
- NetBotz Rack Access Pod 170 (NBPD0170) (NBRK0550 および NBRK0570 専用)
- NetBotz Rack Access Electronic Handle (NBHN0170) (NBRK0550 および NBRK0570 専用)
- NetBotz 無線センサー ポッド 180 (NBPD180)
- NetBotz USB Coordinator & Router (NBWC100U)
- NetBotz Wireless Temperature Sensor (NBWS100T および NBWS100H)

InfraStruxure 認定

この製品は、APC InfraStruxure® システムに適合していると認定されています。

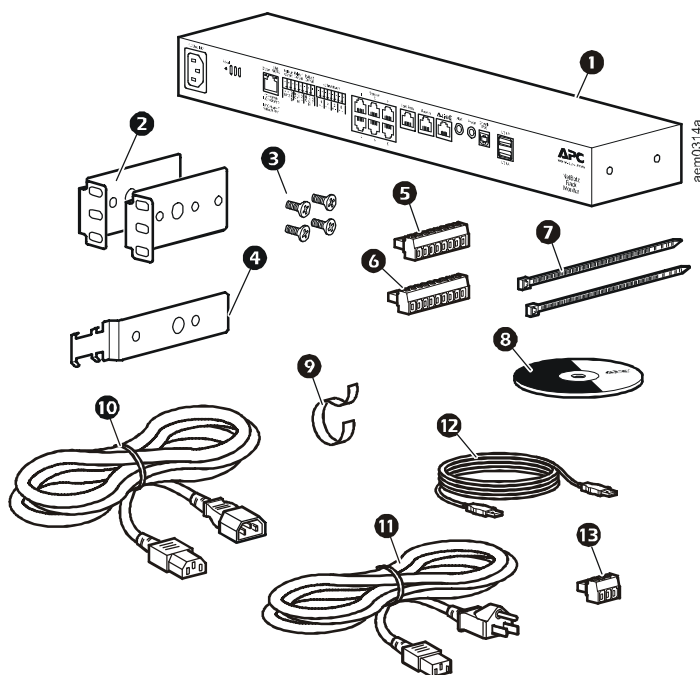
物理的概要

	項目	説明
❶	AC 電源インレット	入力電源への接続部位です。電圧については、29 ページの「仕様」を参照してください。
❷	リセット スイッチ	機器のリセットを行います。
❸	ポート アクティビティ LED	RS485 ポートの受電中に緑色で点滅します。NBRK0570 機器でのみ使用できます。
❹	RS485 ポート	Modbus への接続部位です。NBRK0570 機器でのみ使用できます。
❺	10/100 Base-T ネットワーク ポート	10/100 Base-T ネットワークへの接続部位です。Status LED (ステータス LED) と Link LED (リンク LED) がネットワーク トラフィックを示します。 • Status LED (ステータス LED) ― 起動時には緑とオレンジに点滅。ネットワーク接続状況を示します (緑の常時点灯 : IP アドレス確立済み、緑の点滅 : IP アドレス取得中)。 • Link LED (リンク LED) ― 点滅によりネットワーク トラフィックを表します (緑の点滅 : 10 Mbps で動作中、オレンジの点滅 : 100 Mbps で動作中)。
❻	Alert LED (アラート LED)	システムのアラート状況を示します。発生しているアラートが 1 つのみではない場合、最も重大なものが表示されます。 • 8 秒ごとの点滅 ― 情報提供 • 4 秒ごとの点滅 ― 警告 • 2 秒ごとの点滅 ― エラー • 毎秒点滅 ― 重大な故障 • 1 秒につき 2 度の点滅 ― 障害
❼	Voltage Output (出力電圧)	接続されたデバイスに DC 12 V または DC 24 V (75 mA) を供給します。
	リレー出力ポート 1、2	リレー制御された外付けデ-バイスを接続するために使用します。それぞれ 24 VDC (100mA) を供給します。
❽	電源 LED	装置が受電しているかどうかを示します (緑 : 受電中、ライトオフ : 受電なし)。
❾	4-20 mA Inputs (4-20 mA 入力電流)	入力電流範囲 4 ～ 20 mA のサードパーティ製センサーを接続するために 24 VDC を供給します。
❿	センサー ポート	APC 製センサー、サードパーティ製ドライ接点センサー、およびサードパーティ製の標準の 0 ～ 5 V センサーの接続に使用します (APC 製センサーのオプションの詳細については、1 ページの「追加オプション」を参照してください)。サードパーティ製のドライ接点状況センサーの場合、NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304) が必要です。標準のサードパーティ製 0 ～ 5 V センサーの場合、NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305)、NBRK0450/550 - 5/24 VDC (50mA)、NBRK0570 - 5/24 VDC (200mA) が必要です。

	項目	説明
⓫	Leak Rope ポート (漏出ロープ ポート)	NetBotz Rope Leak Sensor (NBES0308) の接続に使用します。
⓬	Beacon ポート (ビーコン ポート)	Alarm Beacon (AP9324) の接続に使用します。
⓭	A-Link ポート (A-Link ポート)	NetBotz センサー ポッドおよび Temperature/Humidity Sensor with Digital Display のカスケード接続に使用します。標準の CAT-5 ケーブルとストレート ケーブルを介して接続された各デバイスに給電し、またデバイスの通信を可能にします。詳細については、11 ページの「A-Link ポートへのセンサーとセンサー ポッドの接続」を参照してください。
⓮	Alert LED (アラート LED)	上述の番号 4 と同様です。
⓯	電源 LED	装置が受電しているかどうかを示します (緑 : 受電中、ライトオフ : 受電なし)。
⓰	コンソール ポート	コンソールをこの機器に接続するために使用します。ご使用のオペレーティング システムでの USB/ シリアル コンバータ (FTDI) のサポートを可能にします。
⓱	USB タイプ A ポート (2 または 4)	USB デバイスをこの機器に接続するために使用します。NBRK0550 および NBRK0450 には 2 つ、NBRK0570 には 4 つの USB ポートがあります。
⓲	排気ファン	NBRK0570 から熱気を排出します。NBRK550 または NBRK450 にはありません。

パッケージの内容

パッケージの内容を点検し、同梱品が下記の一覧と一致しているか確認します。内容物の不足や破損がある場合は、APC または販売店にお問い合わせください。なお、輸送による破損が認められる場合には直ちに運送業者にご連絡ください。

梱包材はリサイクル可能です。将来の使用に備えて保管するか、または適切な手段で廃棄するようにお願いいたします。

番号	説明
❶	NetBotz Rack Monitor 450、Rack Monitor 550 または Rack Monitor 570
❷	標準 19 インチ ラック用ブラケット
❸	M4 x 8 さらネジ (プラス)
❹	電源コード リテーナ ブラケット
❺	8 ポジション型端子台プラグ
❻	9 ポジション型端子台プラグ
❼	203 mm タイラップ
❽	*NetBotz Appliance Utility CD*
❾	203 mm マジック テープ式ケーブル ストラップ
❿	1.8 m 長、IEC-320-C13 および IEC-320-C14 間用電源コード
⓫	1.8 m 長、NEMA 5-15P および IEC-320-C13 間用電源コード
⓬	5 m 長 USB ケーブル
⓭	3 ポジション型端子台プラグ
	Temperature/Humidity Sensor (AP9335TH) ー イラストには含まれていません

取り付け

機器の据付

ラックに収納する場合、この機器はラックの前面 / 背面のどちらにでも取り付けられます。この場合は 1U スペースが必要です。この機器を据え付けるときには次の事項を考慮してください。

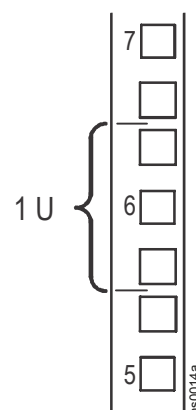
注意 : 本機器のポートには、必ず承認されたデバイスのみを本マニュアルの記載に従って接続してください。他のデバイスを接続すると機器が破損するおそれがあります。

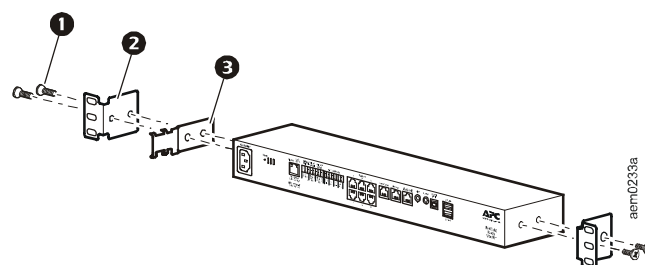
注意 : この機器は、29 ページの「仕様」に指定されている最高周囲温度 (Tma) に適合する環境に設置してください。機器を密閉型またはマルチユニット形式のラックアセンブリに設置した場合、動作時の周囲温度が周辺の室温より高くなることがあります。

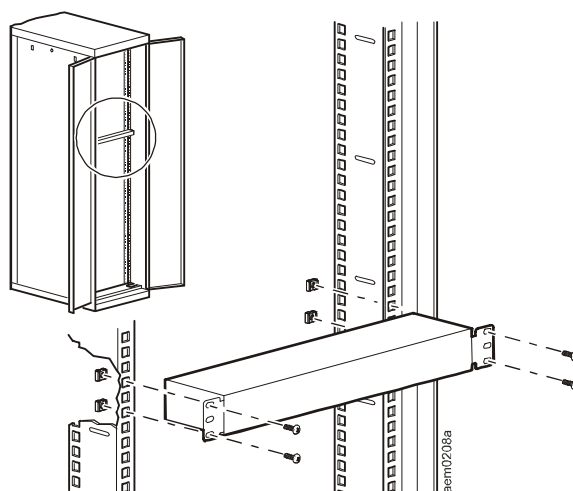
注意 : 安全な作動のため、この機器は十分なエア フローを確保できるように設置してください。

注意 : 機器をラックに収納する際は、不均一な機械的荷重により危険な状況とならないよう十分注意してください。たとえば、機器を棚として使用しないでください。

ラックマウントによる据付

1. 機器をラックの前面と背面のどちらに据え付けるかを決めます。本製品は 1U スペースを必要とします。ラックの垂直レールの穴には、3 つごとに U スペースの中央を示す識別番号が付けられています。

注意 : 機器の損傷を避けるため、ブラケットを取り付ける際は付属の金具のみを使用してください。

2. ブラケット (❷ と ❸)、および電源コード リテーナ ブラケットを、AC 電源インレットに最も近い方の端に取り付けます。

❶	M4 x 8 さらネジ (プラス)
❷	ブラケット
❸	電源コード リテーナ ブラケット

3. ラックに同梱されているケージ ナットとネジを使用して、機器をラックに固定します。

電源コードとネットワーク ケーブルの接続

注意 : 回路の過負荷を避けるため、機器に印加する際は、事前に 29 ページの電気仕様を確認してください。

注意 : この機器の接地は、壁コンセントに直接差し込んで接続するか、または電源タップを使用する場合であれば接地経路を確認して、必ず適切に行ってください。

注意 : 付属の電源コードは APC NetBotz 製品専用です。

1. 機器の AC 電源インレットに適切な電源コードを接続します。
2. タイ ラップを使用して、電源コードを電源コード リテイナ ブラケットに固定します。
3. ネットワーク ケーブルを機器の 10/100 Base-T ネットワーク ポートに接続します。
4. 電源コードを壁コンセントに差し込みます。
5. マジック テープ式ケーブル ストラップでケーブルを固定します。

センサーとセンサー ポートの接続

この手順は下記のセンサーを対象とするものです。これらのセンサーは当機器でサポートされており、センサー ポートに接続します。

- Temperature Sensor (AP9335T)
- Temperature/Humidity Sensor (AP9335TH)
- NetBotz Vibration Sensor (NBES0306)
- NetBotz Smoke Sensor (NBES0307)
- NetBotz Spot Fluid Sensor (NBES0301)
- NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305)
- NetBotz Door Switch Sensor for APC Racks (NBES0303)
- NetBotz Door Switch Sensor for Rooms or Third Party Racks (NBES0302)
- NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304)

A-Link ポートに接続するセンサー (Temperature Sensors with Digital Display [AP9520T] および Temperature/Humidity Sensors with Digital Display [AP9520TH]) の場合は、11 ページの「A-Link ポートへのセンサーとセンサー ポッドの接続」を参照してください。

APC 製およびサードパーティ製のセンサーを、機器の **Sensors** と表記された 6 つのセンサー ポートに接続します。

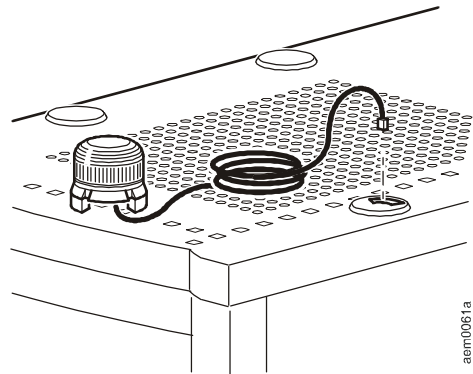
- サードパーティ製のドライ接点センサーでは、NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304) が必要になります。センサーをケーブルに接続するには、センサーの手順説明およびケーブルの手順説明に従ってください。
- 標準のサードパーティ製 0 ～ 5 V センサーの場合、NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305) が必要です。センサーをケーブルに接続するには、センサーの手順説明およびケーブルの手順説明に従ってください。
- センサー ケーブルの長さが足りない場合、RJ-45 連結器 (一部のセンサーには同梱されています) と標準の CAT-5 ケーブルを使用すれば、Temperature/Humidity Sensor (AP9335TH) または Temperature Sensor (AP9335T) なら 15 m まで、サポートされているその他のセンサーなら 30.5 m まで延長できます。

以下は、各機器でサポートできるさまざまなポッド / センサーのタイプとデバイス数の一覧です。

ポッド / センサー タイプ	Rack Monitor 570	Rack Monitor 550	Rack Monitor 450
Camera Pod 160	合計 4 ポッド	合計 4 ポッド *	合計 2 ポッド
Camera Pod 120			
CCTV Adapter Pod 120			
センサー ポッド 150	合計 12 ポッド	合計 12 ポッド	合計 2 ポッド
センサー ポッド 155			
センサー ポッド 120			
4-20 mA Input Pod 120			
煙センサー	2	2	2
AP9520 Temp/Humidity Probe (A-Link)	8	8	8
* 4 個のカメラ ポッドを取り付けるには外部 USB ハブが必要です。			

Alarm Beacon と他のオプション デバイスの接続

1. Alarm Beacon を取り付けます。
   – ラックの天板部分またはラック内の目につく個所に Alarm Beacon を取り付けます。
   – Alarm Beacon ケーブルを機器に配線します。Alarm Beacon ケーブルは、RJ-45 連結器と標準の CAT-5 ケーブルを用いて 100 m まで延長できます。
   – ケーブルを Alarm Beacon (アラーム ビーコン) ポートに接続します。

2. デバイス (1 台) を Voltage Output (出力電圧) に接続します。

注意：Relay Output (リレー出力) はクラス 2 の回路へのみ接続できます。

3. デバイスを Relay Output (リレー出力) に接続します (最高 2 台まで)。
4. NetBotz Rope Leak Sensor を Leak Rope ポート (漏出ロープ ポート) に接続します。

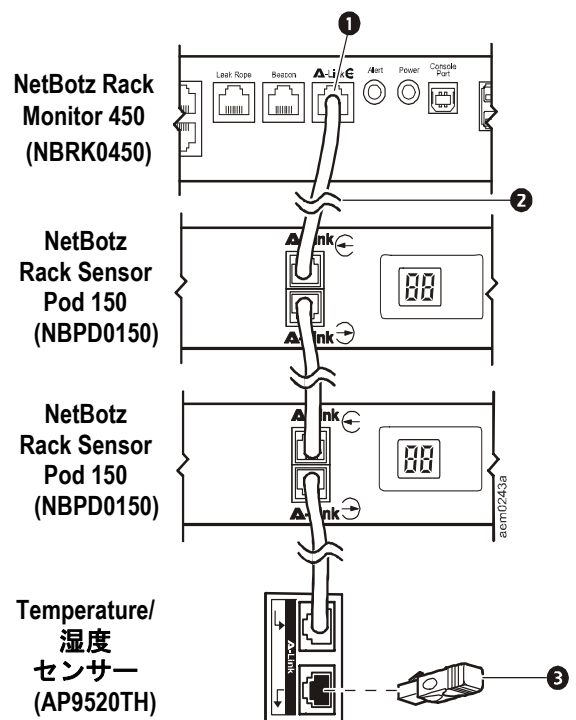
A-Link ポートへのセンサーとセンサー ポッドの接続

NetBotz 550 または NetBotz 570 では、NetBotz ラック センサー ポッド 150 (NBPD0150) と NetBotz ルーム センサー ポッド 155 (NBPD0155) とを組み合わせて最高 12 台まで、さらに Temperature Sensors with Digital Display (AP9520T) と Temperature/Humidity Sensors with Digital Display (AP9520TH) とを組み合わせて最高 8 台までカスケード接続可能です。加えて、合計で最大 13 台の Rack Access Pod 170 をカスケード接続できます。

NetBotz 450 では、NetBotz ラック センサー ポッド 150 (NBPD0150) と NetBotz ルーム センサー ポッド 155 (NBPD0155) とを組み合わせて最高 2 台までと、さらに Temperature Sensors with Digital Display (AP9520T) と Temperature/Humidity Sensors with Digital Display (AP9520TH) とを組み合わせて最高 8 台までカスケード接続可能です。

この機器自体はカスケード接続できません。機器はシステムにつき 1 台ずつ使用します。A-Link は、APC 独自の CAN (Controller Area Network) バスです。A-Link 対応のデバイスは Ethernet デバイスとは互換性がなく、Ethernet バス上でハブやスイッチなど他のネットワーク デバイスと一緒に使用することはできません。

この手順を実行する前に、カスケード接続しようとしているデバイスの取扱説明書の設置手順に従ってください。10 台より多いセンサー ポッドをカスケード接続する場合は、本手順の記載のとおりにシステムに補助電源 (Power Supply 100-230 VAC/24 VDC － AP9505i) を接続する必要があります。4 台より多い Rack Access Pod 170 をカスケード接続する場合は、Rack Access Pod 4 台ごとに電源を追加する必要があります。NetBotz 570 では、外部電源は不要です。

1. センサーとセンサー ポッドを図のように機器に接続します。
   – CAT-5 (または同等の) Ethernet パッチ ケーブル (❷) を使用します。**注意 : クロスケーブルは使用しないでください。**
   – 図のように **IN** ポートと **OUT** ポートに接続します。
   – A-Link ケーブルすべての合計長が 1,000 m を超えないようにしてください。
2. A-Link ターミネータを、使用していない A-Link ポート (❸) に接続します。

注意 : センサー ポッドは、初めて電力供給を受けた時点で、A-Link バスを介して通信するための固有の識別用アドレスを取得します。通信エラーを避けるため、必ず手順 1 と 2 を実行した後に補助電源に接続してください。

3. Rack Monitor 450 または 550 では、10 台以上のデバイスをカスケード接続した場合は、11 番目の位置かまたはこれにもっとも近い位置にあるラック センサー ポッド 150 もしくはルーム センサー ポッド 155 の 24 VDC Input (24 VDC 入力) ジャックに、補助電源 (AP9505i) を 1 台接続します。

初期環境設定

注意 : システムの一部として APC InfraStruxure Central サーバーを使用している場合には、この章の手順は無視してください。詳細については、InfraStruxure デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

概要

機器をネットワーク上で動作させるには、まず次の TCP/IP 設定を行う必要があります。

- 機器の IP アドレス
- サブネット マスク
- デフォルト ゲートウェイ

注意 : デフォルト ゲートウェイがない場合は、この機器と同じサブネット上にあり常時動作しているコンピュータの IP アドレスを使用してください。トラフィックが非常に少ない場合、この機器はデフォルト ゲートウェイを使ってネットワークのテストを行います。

DHCP によるネットワーク設定の取得

デフォルト設定では、機器は DHCP を使用してネットワーク設定を取得するようになっています。この機器は、ネットワークに接続しユニットに電源を投入した時点で自動的に DHCP サーバとの通信を試み、30 秒間応答を待ちます。DHCP サーバーでホスト名が提供されるように設定されている場合、機器によって、環境設定時に指定されたホスト名あるいは「netbotz*xxxxxx*」(ここでは、*xxxxxx* はこの機器の MAC アドレスの下位 6 桁に相当) のどちらかが、DHCP サーバーが認める IP アドレスに関連するホスト名として要求されます。これにより、追加の設定を行わなくても Web ブラウザから「**http://netbotz*xxxxxx***」のアドレスで機器に接続できるようになります。機器はさらに、DNS サーバー アドレス、DNS ドメイン、SMTP サーバー アドレス、NTP サーバー アドレスも DHCP サーバーに要求します。

Serial Configuration Utility および他のプログラムのインストール。NetBotz Serial Configuration Utility は、NetBotz 機器でネットワーク設定を行うための Java® ベース アプリケーションです。Serial Configuration Utility (Windows システムのみ)、ならびに詳細ビュー (NetBotz Appliance の監視および管理用のコンソール) と Java Runtime Environment (JRE) のシステムへのインストールは、*NetBotz Appliance Utility CD* を使用して行います。

注意 : 詳細ビュー アプリケーションで使用する Java Runtime Environment は、インストール対象のターゲットですでに適切な JRE がインストール済みであるかどうかに関わらず、必ずインストールします。

- **Microsoft® Windows®** **システム** : Windows XP (SP1 および SP2)、Windows 2000、Windows Vista、または Windows 7 稼動のコンピュータにこのアプリケーションと JRE をインストールするには、この機器の環境設定と管理に使用するコンピュータの CD ドライブに *NetBotz Appliance Utility CD* を挿入します。NetBotz Installer が自動的に起動します。お使いのコンピュータで Autorun 機能を無効にしている場合は、**[スタート] > [ファイル名を指定して実行]** の順に選択し、**[開く]** の欄に「`x:\av\windows\install.exe`」(*x* の部分には該当する CD ドライブのアルファベット文字を当てはめてください）と入力し、次に **[OK]** をクリックします。画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了します。
- **Linux** **システム** : Red Hat® Enterprise Linux® 4 または 5、あるいは Fedora™ Core 11 または 12 で稼動するコンピュータにこのアプリケーションと JRE をインストールするには、NetBotz Appliance の環境設定と管理に使用するコンピュータの CD ドライブに *NetBotz Appliance Utility CD* を挿入します。必要に応じてドライブをマウントします。CD の Linux サブディレクトリから `install.bin` を実行します。たとえば、Linux システムを使用していて CD ドライブを `/mnt/cdrom` としてマウントした場合は、次のコマンドを実行します :

```
sh /mnt/cdrom/linux/install.bin
```

画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了します。

Serial Configuration Utility によるネットワークの設定

Serial Configuration Utility での機器の環境設定は次の手順で行います。

1. **[スタート] > [プログラム] > [NetBotz]** > [Serial Configuration] > [Serial Configuration Utility] の順にクリックして、Serial Configuration Utility を起動します。
2. USB ケーブルの一方の端をコンピュータに、他方の端を NetBotz Appliance の Console ポート (コンソール ポート) に接続します。
3. NetBotz Appliance に付属の電源コードを壁コンセントに差し込み、次に AC 電源インレットに接続します。

   注意 : この電源コードは APC NetBotz 製品専用です。

   機器に電源を入れると、緑の電源 LED が直ちに点灯します。ユニットは、機器の環境設定により異なりますが、この後 2 分ほどで初期化を完了します。アラート状況がある場合は、赤の Alert LED (アラート LED) が点灯します。**[Next (次へ)]** をクリックして続行します。

4. Serial Configuration Utility は、NetBotz Appliance がネットワークに接続されているかを確認するため、自動的にシステムの COM ポートをスキャンします。NetBotz Appliance が検出されると、ウィンドウの [Device (デバイス)] 欄のリストに該当の機器が表示されます。環境設定したい機器のラジオ ボタンを選択し、**[Next (次へ)]** をクリックして続行します。

注意 : USB ケーブルを差し込んだポートに関連付けられている COM ポートを他のアプリケーションがその時点で使用している場合、このポートが使用不可である旨のメッセージが COM ポート脇の **[Owner (所有者)]** 欄に表示されます。これを解決するには、この COM ポートを使用しているアプリケーションを閉じ、次に **[Scan Serial Ports (シリアル ポートのスキャン)]** をクリックします。

5. [Root Password (ルート パスワード)] ウィンドウが開きます。この機器の管理者アカウントのパスワード (デフォルトのパスワードは「**apc**」) を入力し、**[OK]** をクリックします。
6. 機器のネットワーク設定を行う上で DHCP を使用するかどうかを指定します。**[はい]** または **[いいえ]** をクリックし、**[Next]** をクリックして続行します。
7. ユーティリティで機器のスキャンが行われ、機器に保存されているネットワーク設定が表示されます。このネットワーク設定は、「Ethernet Card Settings (Ethernet カード設定)」と「DNS Settings (DNS 設定)」に分かれています。
8. [Ethernet Card Settings (Ethernet カード設定)] を指定します。
   – DHCP サーバーが指定するネットワーク設定を使用するには、**[Configure automatically via DHCP (DHCP 経由で自動的に設定する)]** を選択します。
   – この機器で使用されるネットワーク設定を指定するには、**[Configure using these settings (これらの設定を使用して設定する)]** を選択し、この機器の IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ アドレスを指定します。ユーザーがファイアウォールの外からでもこの機器にアクセスできるようにするには、ネットワークの NAT Proxy サーバーが使用する NAT Proxy 名または IP アドレスを指定してください。また、このインターフェイスで使用する速度とデュプレックスについても、値を指定するか、デフォルト設定の **[Auto Negotiate (自動交渉)]** を選択します。
9. [DNS Settings (NDS 設定)] を指定します。
   – DHCP サーバーによって提供される DNS 設定値を使用するには、**[Use DHCP DNS Settings (DHCP DNS 設定を使用する)]** のチェックマークをオンにします。
   – この機器で使用する DNS 設定を手動で指定するには、**[Use DHCP DNS Settings (DHCP DNS 設定を使用する)]** のチェックマークを外し、ドメインと DNS サーバーの情報を指定します。
10. **[Next (次へ)]** をクリックして各環境設定値を保存します。**[Finish (完了)]** をクリックして Serial Configuration Utility を閉じます。
11. NetBotz Appliance の IP 接続をテストします。Web ブラウザを起動し、アドレス欄に機器の IP アドレスを入力してください。**Enter** キーを押します。NetBotz Appliance がネットワークに接続され適切に環境設定されていると、ブラウザ ウィンドウに Web クライアントが表示されます。

ワイヤレス ネットワーク デバイスのインストール

サードパーティ製のワイヤレス ネットワーク デバイスをインストールするには、そのデバイスを Ethernet ケーブルで機器の Ethernet ポートに接続します。APC では現在、ワイヤレス Ethernet ブリッジの D-Link DWL-G820 をサポートしています。

サードパーティ製ワイヤレス ネットワーク デバイスのインストールと環境設定を実行するには、該当するデバイスの取扱説明書を参照してください。

NetBotzConfiguration Wizard

Configuration Wizard (設定ウィザード) を使用すると機器で以下を設定できます。

- Domain Name Server Settings (ドメイン名サーバー設定)
- Clock and Calendar Settings (クロックとカレンダーの設定)
- Region Settings (地域設定)
- Administrator User ID and Password (管理者ユーザー ID とパスワード)
- E-Mail Settings (電子メール設定)
- E-Mail Alert Notification Recipients (電子メール アラート通知送信先)

Configuration Wizard では、最新バージョンの BotzWare が機器にダウンロードされます。

このウィザードによる機器の環境設定が完了すると、機器で、環境モニタリング (適切なエア フローの欠如、温度、湿度) が行われ、カメラを設置したエリアのモーションの検出が開始されます。センサーのいずれかでアラート状況が検出されると、事前に指定されている電子メール アドレスに電子メール通知が送信されます。

Configuration Wizard (設定ウィザード) のすべての手順を完了するまで、または **[Don't Show Configuration Wizard Next Time (次回設定ウィザードを表示しない)]** のチェックマークをオンにするまでは、NetBotz Appliance で詳細ビューを使用するたびに Configuration Wizard (設定ウィザード) が起動します。このウィザードを再度起動するには、詳細ビューの **[Tools (ツール)]** ドロップダウン リストから **[Configuration Wizard (設定ウィザード)]** を選択してください。

機器へのアクセス

概要

ネットワークで機器が稼動するようになったら、Web クライアントまたは詳細ビューを介して、設定した機器にアクセスできます。

Administrator アカウントのユーザー ID とパスワード

NetBotz Appliance の Administrator アカウントの値は事前に設定されています。このアカウントのユーザー ID とパスワードは次のとおりです。

- ユーザー **ID:** apc
- パスワード **:** apc

注意 : セキュリティを強化するため、必ず詳細ビューの *[Users (ユーザー)]* のタスクを実行して Administrator アカウントのデフォルトのユーザー ID とパスワードを変更してください。

root アカウントのユーザー ID とパスワード

NetBotz Appliance の root アカウントの値は事前に設定されています。この root アカウントが使用されるのは、USB Console ポート (USB コンソール ポート) を用いて実行される機器の通信目的、すなわち Serial Configuration Utility でネットワーク設定を指定する場合のみです。このアカウントのデフォルトのユーザー ID とパスワードは次のとおりです。

- **ユーザー ID:** root
- **パスワード :** apc

注意 : root アカウントのユーザー ID は変更できません。セキュリティを強化するため、必ず詳細ビューの *[Change Root Password (root パスワードの変更)]* ツールでデフォルトの root アカウント パスワードを変更してください。

パスワードの復旧

パスワードを忘れた場合 :

1. 機器背面の AC 電源インレット ポートの右にあるリセット スイッチの位置を確かめます。
2. ペーパー クリップのような細いワイヤを使用してリセット スイッチを 10 秒間押し込みます。これでシステムが再起動します。
3. システムが再起動したら、2 分以内に次のデフォルト値を使用してログインします。

- 詳細ビューの場合 :
  - **ユーザー ID:** apc
  - **パスワード :** apc
- コンソールの場合 :
  - **ユーザー ID:** root
  - **パスワード :** apc

注意 : リセット スイッチを押してから 2 分以内にログインしなかった場合はもう一度手順をやり直す必要があります。

4. ログインの後に、セキュリティ強化のためパスワードを変更してください。

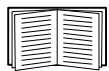
Web クライアント

NetBotz Web クライアントには、センサーの読み取り値やカメラ ポッドによりキャプチャされた画像など、バージョン 4.2 を実行している NetBotz 機器のアラートおよびデバイス情報の概要がリアルタイムに表示されます。

注意 : 詳細な機器設定とシステム管理については、NetBotz 詳細ビューを使用します。詳細ビューは、モバイル機器ではサポートされません。

サポートされている Web ブラウザおよびバージョンについては、*Utility* CD 内のリリースノートを参照してください。

詳細ビュー

詳細ビューでは、センサー データ、カメラ画像、その他の機器データが Java カスタム アプリケーションで表示されます。詳細ビューではさらに、リレー出力アクションの生成や機器の全機能の設定ができます。詳細ビューは単独型のアプリケーションであり、ネットワークに接続されたサポート対象のコンピュータにインストールする必要があります。

Web クライアントまたは詳細ビューの詳細については、『*NetBotz Appliance ユーザーズガイド*』を参照してください。

NetBotz でのクイック環境設定

機器の据付と環境設定を済ませて電源投入したら、詳細ビューで次の手順を実行します。

- **機器の設定 :** 機器のクロック、DNS、地域、ネットワーク インタフェース (ホスト名、NAT プロキシ、速度、デュプレックス設定)、電子メール サーバー、およびプロキシを設定します。
- **アラート アクションの設定 :** [音声アラートを再生する] および [プライマル電子メール通知] の各アラート アクションを設定します。

機器の設定

詳細ビューを起動し、次の機器の設定タスクを実行します。各タスクに対応するアイコンは、[Configuration (設定)] ペインの [Appliance Settings (Appliance 設定)] 領域にあります。

1. クロックを設定します。デフォルト設定では、機器によってシステム クロックは NTP サーバーと同期するようになっています。これらのサーバーへのネットワーク アクセスが許可されない場合は、**[クロック]** アイコンをダブルクリックして、NTP サーバー アドレスを指定するか、またはクロックを手動で設定してください。
2. DNS を設定します。**[DNS]** アイコンをダブルクリックし、DNS ドメインと、少なくとも 1 つの DNS Server アドレスを指定してください。
3. 地域を設定します。**[Region (地域)]** アイコンをダブルクリックし、[ロケール] と [Time Zone (タイムゾーン)] を設定してください。デフォルト設定は、US および Central Standard Time (中央標準時) です。
4. 機器のホスト名を指定します。**[Network Interfaces (ネットワーク インターフェイス)]** をダブルクリックし、機器のホスト名を入力してください。ユーザーがファイアウォールの外からでも機器にアクセスできるようにしたい場合には、ネットワークの NAT プロキシ サーバーが使用する NAT プロキシ名または IP アドレスを指定してください。また、このインターフェイスで使用する速度とデュプレックスについても、値を指定するか、デフォルト設定の **[Auto Negotiate (自動交渉)]** を選択します。
5. Administrator アカウントに固有のユーザー ID とパスワードを割り当てます。デフォルト設定では、Administrator アカウントのユーザー ID とパスワードは両方とも **apc** になっています。セキュリティ強化のため、**[Users (ユーザー)]** アイコン、**[NetBotz** 管理者アカウント] の順にダブルクリックし、Administrator アカウントに対して固有のユーザー ID とパスワードを指定してください。
6. 電子メール サーバーを設定します。ここで指定した電子メール サーバーを使用して、アラート通知がメール送信されます。**[E-mail Servers (電子メール サーバー)]** アイコンをダブルクリックし、次の項目を設定してください。
   a. (オプション) **[From (送信元)]** アドレス。
   b. **[SMTP server (SMTP サーバー)]** フィールドに SMTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します (例 : mail.yourcompany.com)。
   c. 必要に応じて **[ポート]** の値を指定してください (デフォルト設定は 25)。
   d. 認証および証明書の照合には **[SSL option (SSL オプション)]** を選択します。これ以降の設定についてはネットワーク管理者に確認してください。
   e. **[Test E-mail Server (テスト電子メール サーバー)]** をクリックして電子メール アドレスを入力し、**[OK]** をクリックします。アラート状況が検出された場合はこのアドレスに電子メール通知が送信されます。テスト用の電子メール通知をこのアカウントで受信できることを確認した後、手順を続行します。
7. ネットワークで HTTP または Socks プロキシ サーバーを使用している場合は、**[Proxy]** アイコンをダブルクリックしてプロキシ設定を行ってください。HTTP と Socks プロキシのどちらを使用しているかが不明の場合はネットワーク管理者に確認してください。

アラート アクションの設定

センサーでしきい値が範囲外になった場合に、Camera Pod 160 またはセンサー ポッド 120 のヘッドフォン / スピーカ ジャックを通してアラート通知を音声で受けるか、電子メール通知で受けるかを指定することができます。

詳細ビューを起動し、次の [ポッドの設定]/[Alerts Settings (アラート設定)] タスクを実行します。各タスクに対応するアイコンは、[Configuration (設定)] ペインの [ポッドの設定]/[Alerts Settings (アラート設定)] 領域にあります。

1. [Alert Actions (アラート設定)] タスクを開きます。**[Alert Actions (アラート設定)]** アイコンをダブルクリックし、[Alert Action Configuration (アラート アクションの設定)] ウィンドウを開きます。
2. **[Add... (追加 ...)]** をクリックして [Select Alert Action (アラート アクションの選択)] ウィンドウを開き、**[音声アラートを再生する]** を選択してから **[OK]** をクリックして [Add Alert Action (アラート アクションの追加)] ウィンドウを開きます。
3. **[Alert Action Name (アラート アクション名)]** フィールドに該当のアラート アクションの名前 (例 : 音声アラートを再生する) を入力します。
4. **[出力デバイス]** ドロップ ボックスから該当するカメラ ポッドを選びます。必要であれば **[音量 (%)]** も設定してください。
5. **[OK]** をクリックして [Add Alert Action (アラート アクションの追加)] ウィンドウを閉じ、次に進みます。設定したばかりのアラート アクションが [Alert Actions (アラート アクション)] の一覧に入っているはずです。
6. 既定のアラート アクションの一覧から **[プライマリ電子メール通知]** を選び、**[Edit (編集)]** をクリックします。
7. **[Include a sound clip with the alert (アラートに音声クリップを含める)]** のチェックマークをオンにします。これにより、電子メール アラート通知にカメラ画像が含まれている場合は、音声クリップも一緒に送られるようになります。電子メール通知のファイル容量が大き過ぎて処理に困る場合は、後でこのオプションを無効にすることもできます。
8. **[Add... (追加 ...)]** をクリックして [Add E-mail Address (電子メール アドレスの追加)] ウィンドウに電子メール アドレスを入力し **[OK]** をクリックします。
9. **[OK]** をクリックして [Edit Alert Action (アラート アクションの編集)] ウィンドウを閉じ、次に進みます。
10. **[OK]** をクリックして [Alert Action Configuration (アラート アクションの設定)] ウィンドウを閉じます。

アップグレード オプション

ソフトウェア機能のアップグレード

使用機器の BotzWare は、詳細ビューの [Upgrade (アップグレード)] タスクでアップグレードすることができます。次のソフトウェア パックを機器に追加できます。

- Advanced Software Pack。これには次の機能が含まれます。
  - カメラ画像のマスキングをブロックアウト
  - クリップ電子署名
  - オーディオ機能強化
  - 機器ロケーションの詳細情報
  - 定義可能なユーザ / ユーザ機能の追加

注意 : このパックの機能は NetBotz 570 および NetBotz 550 の標準機能です。

- 5 Node Scanner/IPMI Pack。このパックでは IPMI と SNMP のスキャナ統合機能が提供されます。

注意 : 機器をアップグレードすると、接続されているポッドも自動的に更新されます。ネットワークで複数の機器を運用している場合は、すべての機器でアップグレードを実行する必要があります。アップグレード中はデータ参照ができなくなります。

ハードウェアのアップグレード

NetBotz Appliance のハードウェアは次の方法でアップグレードできます。

- NetBotz アプライアンスに、Camera Pod 160、センサー ポッド 150、センサー ポッド 155、Rack Access Pod 170 (Netbotz 570 および Netbotz 550 専用)、NetBotz 無線センサー ポッド 180、および CCTV Adapter Pod 120 を追加します。
- NetBotz Wireless Sensor 180、NetBotz USB Coordinator & Router、および NetBotz Wireless Temperature Sensor を使用して、機器に無線センサー ネットワークを追加します。
- 機器の USB ポートに、サポートされている USB モデムを追加します。
- 機器の USB ポートに、サポートされている USB デジタル I/O デバイスを追加します。
- 機器に、サポートされている USB/ シリアル ポート デバイスを追加します。

注意 : NetBotz Rack Monitor 570、NetBotz Rack Monitor 550、および NetBotz Rack Monitor 450 は、NetBotz センサー ポッド 120 と NetBotz Camera Pod 120 をサポートしています。

機器にポッドを追加する

NetBotz Rack Monitor は下記のポッドをサポートしています。

ポッド タイプ	Rack Monitor 570	Rack Monitor 550	Rack Monitor 450
Camera Pod 160	合計 4 ポッド	合計 4 ポッド *	合計 2 ポッド
Camera Pod 120			
CCTV Adapter Pod 120			
センサー ポッド 150	合計 12 ポッド	合計 12 ポッド	合計 2 ポッド
センサー ポッド 155			
センサー ポッド 120			
4-20 mA Input Pod 120			
煙センサー	2	2	2
AP9520 Temp/Humidity Probe (A-Link)	8	8	8
Rack Access Pod 170**	13	13	-

* 4 個のカメラ ポッドを取り付けるには外部 USB ハブが必要です。
** 4 台より多いラック アクセス ポッドを取り付ける場合は、ポッド 4 台ごとに AP9505i 電源を追加する必要があります。

カメラ ポッド、センサー ポッド 120、4-20mA Input Pod 120 は機器の USB ポートに直接接続できます。または、機器に USB ハブを取り付けてからそのハブにポッドを接続することもできます。ハブをデイジー チェインしてそのハブにポッドを接続することもできます。ただし、この場合にはデイジー チェイン構成の 5 番目以内にポッドを接続する必要があります。

注意 : 電源要件を満たすため、Camera Pod 160、センサー ポッド 120、CCTV Adapter Pod 120、4-20mA Input Pod 120 は、必ず機器の USB ポートのいずれかに直接取り付けるか、もしくは外部電源からの給電による USB ハブに取り付けてください。
RS232 ベースのセンサーやデバイスを USB ハブに接続することもできます。

機器にポッドを接続すると、この機器は Web クライアントと詳細ビュー両方のインターフェイスの [Navigation (ナビゲーション)] ペインに自動的に表示されるようになります。新しく追加されたポッドは、ポッドのタイプとシリアル番号別に分類されます。

• CCTV Adapter Pod 120 の場合は、接続したら使用の前に追加設定を行う必要があります。

詳細については、23 ページの「CCTV Adapter Pod 120 のインストールと環境設定」を参照してください。

• 一度接続したポッドを取り外した場合、詳細ビューの [Navigation (ナビゲーション)] ペインにある該当項目はグレー表示になります。ポッドを再び接続すれば、[Navigation (ナビゲーション)] ペインのグレー表示は有効な状態に戻ります。

CCTV Adapter Pod 120 のインストールと環境設定。CCTV Adapter Pod 120 をインストールするには、ビデオ ソースをポッドにある適切な DIN、BNC、または RCA ビデオ入力ジャックに接続します。USB ケーブルを使用して、NetBotz Appliance、または機器に接続した USB ハブにポッドを接続します。USB ケーブルからの高周波ノイズと放出を低減するため、USB ケーブルのポッド接続側の端から 51 ～ 76 mm 以内にクランプ式フェライトを 1 個、さらに機器または USB ハブ接続側の端から 51 ～ 76 mm 以内の USB ケーブルに 2 番目のクランプ式フェライトを取り付けます。

CCTV Adapter Pod 120 とビデオ ソースを機器に接続したら、詳細ビューを介してポッドの環境設定を行います。

ポッドは以下の手順で設定します。

1. 詳細ビューを開きます。[Appliance] ドロップダウン リストから、CCTV Adapter Pod 120 の接続先の機器の IP アドレスを選びます。管理者権限のあるユーザー アカウントを使用して機器にログインします。ログインしたら、接続したばかりの CCTV Adapter Pod 120 が [Navigation (ナビゲーション)] ペインに表示されていることを確認します。CCTV Adapter Pod 120 のデフォルトのラベル名は、CCTV Video Pod *serial* です (*serial* の部分はこのポッドのシリアル番号に相当します)。
2. [Configuration (設定)] ボタンを選択し、[カメラ ポッド] アイコン ([Configuration (設定)] ペインの [Pod/Sensor Settings (ポッド / センサーの設定)] の部分にあります) をダブルクリックします。
3. [カメラ ポッドの設定] ペインの CCTV Adapter Pod 120 に相当する項目を選び、**[Capture (キャプチャ)]** をクリックします。
4. [Camera Capture Settings (カメラ キャプチャの設定)] ウィンドウが開きます。このウィンドウで Camera Pod 160 の環境設定を行う際に表示される各フィールドに加えて、CCTV Adapter Pod 120 の環境設定では次のもう 1 つのフィールドが表示されます。
   – **[Video Format (ビデオの形式)]:** ビデオ ソースによって転送されるビデオの形式をここで指定します。選択肢には、NTSC-M、NTSC-Japan、PAL-B、PAL-D、PAL-G、PAL-H、PAL-I、PAL-M、PAL-N 組み合わせ、および SECAM があります。
5. [Camera Capture Settings (カメラ キャプチャの設定)] ウィンドウから、該当ポッドで使用するカメラと画像キャプチャの設定を行います。現時点で選択されている **[Video Format (ビデオの形式)]**、**[Brightness (輝度)]**、**[Contrast (コントラスト)]**、**[Image Quality (画質)]** の設定を使用した画像キャプチャの例を参照するには、**[Apply (適用)]** をクリックしてください。[Capture (キャプチャ)] ウィンドウのサンプル画像が新しい設定値に従って更新されます。画像の例を確かめたら **[OK]** をクリックして変更値を機器に保存します。

詳細ビューの [カメラ] ペインにビデオ ソースが表示されているはずです。環境設定が完了したら、このビデオ ソースも Camera Pod 160 の場合と同様に使用できます。

無線センサー ネットワークの接続

NetBotz USB Coordinator & Router (NBWC100U)、NetBotz Wireless Temperature Sensor (NBWS100T および NBWS100H)、および NetBotz 無線センサー ポッド 180 (NBPD0180) を使用すると、NetBotz v4.4 アプライアンスに無線センサー ネットワークを接続して、温度と湿度を監視できます。センサーを追加すると、ラックの扉へのアクセスや、ラックの複数の位置での温度測定値を監視できるようになります (無線センサー ポッド 180 のみ)。

各無線センサー ネットワークでは、コーディネーターが 1 台だけ接続されていることが必要です (NetBotz アプライアンスの USB Type A ポートに接続)。ルーターは、NetBotz アプライアンスに直接接続するのではなく、AC-USB アダプターを使用して給電します。エンド デバイスには、バッテリから給電します。

次の無線デバイスは、無線ネットワークで**コーディネーター**または**ルーター**として設定できます。

無線デバイス	範囲	パーツ番号
USB Coordinator & Router	100 ft - 見通し線	NBWC100U
無線センサー ポッド 180	100 ft - 見通し線	NBPD0180

次の無線デバイスは、無線ネットワークで**エンド デバイス**として設定できます。

無線デバイス	範囲	パーツ番号
Wireless Temperature Sensor	100 ft - 見通し線	NBWS100T NBWS100H
無線センサー ポッド 180	100 ft - 見通し線	NBPD0180

警告 : この NetBotz 無線センサー ネットワークと互換性があるのは上記のデバイスだけです。その他のデバイスは機能せず、機器や他の無線デバイスが損傷する可能性があります。

NetBotz Rack Monitor 450 アプライアンスは、無線センサー ネットワークで合計 **26** 台の無線デバイス (コーディネーターとルーターを含む) をサポートします。

NetBotz Room Monitor 455、Rack Monitor 500、および Rack Monitor 570 アプライアンスは、無線センサー ネットワークで合計 **48** 台の無線デバイス (コーディネーターとルーターを含む) をサポートします。

注意 : NetBotz v4.3 アプライアンスでは、合計 **26** 台の無線センサー ポッド 180 デバイス (コーディネーターとルーターを含む) がサポートされます。NetBotz 無線センサー ポッド 180 は、BotzWare v4.3 および Advanced View v4.3 の無線センサー ネットワークでサポートされる唯一の無線デバイスです。

Advanced View では、無線センサー ネットワークを次の順序で設定します。

- *[Wireless Sensor Setup (無線センサー セットアップ)]* タスクで、無線デバイスの拡張アドレス (MAC) を委託リストに追加します。
- 委託リストを適用し、NetBotz 機器に保存します。
- コーディネーターを設定します (無線センサー ポッド 180 のみ)。

無線センサー ネットワークを設定して、無線デバイスに給電する順序は重要です。

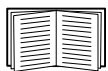
無線デバイスのインストールと設定の詳細については、NetBotz Wireless USB Coordinator & Router、NetBotz Wireless Temperature Sensor、および NetBotz 無線センサー ポッド 180 に付属するインストール マニュアルを参照してください。

Advanced View で無線デバイスを追加します。*[Wireless Sensor Setup (無線センサー セットアップ)]* タスクでは、USB スキャナを使用して、無線デバイスの MAC アドレスを [Add Addresses (アドレスの追加)] ダイアログに追加できます。または、MAC アドレスのリストをテキストファイルに保存し、コピーしてダイアログに貼り付ける (1 行ごとに 1 つのアドレス) か、アドレスを手動で入力することができます。

QR コード スキャナによっては、パーツ番号、シリアル番号、MAC アドレスが 1 行で返されます (XN:NBWC100U%SN:XXXXXX123456%MAC:**00C0B70000XXXXXX)**。無線ネットワークにセンサーを追加するには、Advanced View の [Add Addresses (アドレスの追加)] ダイアログで各センサーの英数字の MAC アドレス**のみ**を入力します。

USB スキャナ。ドキュメント キャプチャ機能を搭載した USB スキャナを使用した場合、各無線デバイスの拡張アドレス (MAC) のみ Advanced View のリストに適切な形式で表示されます。

1. ドキュメント キャプチャ機能を搭載したハンドヘルド USB スキャナを、NetBotz Advanced View を実行しているコンピュータに接続します。
2. Advanced View を使用して、*[Wireless Sensor Setup (無線センサー セットアップ)]* タスクで、各無線デバイスのラベルにある QR コードをスキャンします。
3. **[Apply Commission List (委託リストの追加)]** をクリックしてリストを NetBotz アプライアンスに保存します。

無線デバイスを更新します。すべての無線デバイスを無線ネットワークに追加したら、*[Wireless Sensor Setup (無線センサー セットアップ)]* タスクで現在のファームウェア リビジョンを確認できます。更新プログラムが利用可能な場合、ディスプレイで **[Firmware Update Available (ファームウェア更新プログラムを適用可能です)]** ボタンが有効になります。

無線デバイスの更新の詳細については、『*NetBotz Appliance ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

USB モデムの接続

サポートされている USB モデムを機器に接続すると、機器のネットワーク通信機能を高めることができます。この機器と併用できる USB モデムは以下のとおりです。

- MultiTech® MultiModem® GPRS
- MultiTech MultiMobile™ USB
- MultiTech MultiModem Cell
- MultiTech MultiModem Cell 3G MTCBA-H5
- MultiTech MultiModem iCell 3G MTCMR-H5
- Option GlobeSurfer® *i*Con

USB モデムを、機器、または機器に接続した USB ハブのいずれかに接続します。このモデムが機器でシリアル ポートとして認識されたら、詳細ビューの *[Serial Devices (シリアル デバイス)]* タスクを使用して、シリアル ポートに関連付けられているモデムを指定します。モデムの機種を指定したら、詳細ビューの *[PPP/Modem (PPP/ モデム)]* タスクで機器を PPP 通信用に設定します。

USB モデムをアンインストールする場合は、詳細ビューの *[Serial Devices (シリアル デバイス)]* タスクを用いて当該デバイスを削除してください。

USB デジタル I/O デバイスの接続

サポートされている USB デジタル I/O デバイスを機器に接続すると、機器に接続できるドライ接点センサーの数を増やすことができます。機器と併用できる USB デジタル I/O デバイスは以下のとおりです。

- Sealevel® SeaLINK PIO-48 (48 のデジタル I/O 接続を追加)
- Sealevel SeaI/O 462U (96 のデジタル I/O 接続を追加)
- Sealevel SeaI/O 463U (96 のデジタル I/O 接続を追加)
- Sealevel SeaI/O 450U (16 のデジタル I/O 接続を追加)

機器に USB デジタル I/O デバイスを接続するには :

1. 機器の電源をオフにします。
2. USB デジタル I/O デバイスを、機器、または機器に接続した USB ハブのいずれかに接続します。
3. 機器に電源を投入します。
4. 機器の起動処理が完了すると、デジタル I/O デバイスの電源は、機器でシリアル ポートとして認識されます。詳細ビューの *[Serial Devices (シリアル デバイス)]* タスクを使用して、シリアル ポートに関連付けられているデジタル I/O デバイスを指定します。
5. 詳細ビューの *[ドライ接点]* タスクで、デジタル I/O デバイスに接続したドライ接点センサーの環境設定を行います。

USB デジタル I/O デバイスをアンインストールしたい場合は、詳細ビューの [Serial Devices (シリアル デバイス)] タスクを用いて当該デバイスを削除してください。

APC Switched Rack PDU の接続

この機器に APC Switched Rack PDU を接続するには、USB/ シリアル ケーブル (製品番号 : NBAC0226。NetBotz または NetBotz 販売店からお求めいただけます) を使用して機器にシリアル ポートを追加してください。USB/ シリアル ケーブルを、機器、または機器に接続した USB ハブのいずれかに接続します。

注意 : この USB/ シリアル ポート コンバータ ケーブルのシリアル ポート コネクタはオス型コネクタです。このケーブルを接続しようとしている Rack PDU にもオス型のコネクタがついている場合は、このデバイスを USB/ シリアル ケーブルに接続するためにはメス / メス コネクタのヌル モデム ケーブルかコンバータ ブロックが必要になります。

USB/ シリアル ケーブルを機器に接続したら、機器と併用するために Rack PDU をこのケーブルに接続します。

サポートされている APC Switched Rack PDU. 現時点では、ファーム ウェアバージョンが 2.74 またはこれ以前の APC Switched Rack PDU がサポートされています。

インテリジェント電源タップのインストール . USB/ シリアル ケーブルのシリアル ポートにインテリジェント電源タップを取り付けます。詳細ビューの *[Serial Devices (シリアル デバイス)]* タスクを使用して、いずれのシリアル ポートベース センサーを機器に接続したかを指定します。

インストールが完了すると、このデバイスに関連付けられているセンサーの読み取り値が Web クライアントと詳細ビューに表示されます。

インテリジェント電源タップをアンインストールしたい場合は、詳細ビューの [Serial Devices (シリアル デバイス)] タスクを用いて当該デバイスを削除してください。

外部センサーの接続

外部センサーを接続するには、センサーを センサー ポッド 150、センサー ポッド 155、またはセンサー ポッド 120 のいずれかの空いている External Port (外部ポート) に接続します。

注意 : センサー ポッド 120 にセンサーを接続する場合は、センサー ポッドのシリアル番号 (ポッド背面に記載) とポッドの External Port (外部ポート) に付いている番号の両方を必ず記録しておいてください。後に、[センサー ポッド] タスクを介して機器の環境設定を行う際にこの情報が必要になります。External Port (外部ポート) の番号はポッドのポートの上に印刷されています。

NetBotz センサー ポッド 120 ユニットのメス型コネクタはバージョン 2 タイプの NetBotz DIN 標準コネクタであるため、バージョン 2 タイプのオス型 NetBotz DIN Sensor Cable しか受け付けません。新しいバージョン 3 タイプの製品では標準の RJ-45 コネクタが使用されています。

外部センサー ケーブルの長さが足りない場合は、外部センサー用延長ケーブル (NetBotz 販売店から 15 m 長または 30 m 長のいずれかをお求めください) を使用してケーブルを延長してください。

外部センサーのインストールが完了したら、外部センサーを使用できるよう、[センサー ポッド] タスクを介して機器の環境設定を行ってください。機器の環境設定が済むと、[Navigation (ナビゲーション)] ペインでセンサーの接続先のポッドを選択したときに、[Sensor Data (センサー データ)] ペインに該当の温度センサーが表示されるようになります。詳細ビューの *[センサー ポッド]* タスクを介して、この外部センサーのしきい値を指定してください。

廃棄

警告 : NetBotz Rack Monitor 機器には、非交換型のリチウム コインセル バッテリが含まれています。バッテリは交換しようとしないでください。機器を廃棄する場合はこのバッテリのことを考慮して、必ず適切に処分を行ってください。

NetBotz 450/550/570 の手入れ

乾いた清潔な布でデバイスの表面を静かに拭いてきれいにしてください。

仕様

電気的仕様

定格入力電圧	100 ～ 240 VAC、50/60 Hz
最大合計電流引込 Rack Monitor 450/550 Rack Monitor 570	 1A 2A

物理的仕様

寸法 (H x W x D)	43.5 x 432.0 x 93.0 mm
質量 Rack Monitor 450/550 Rack Monitor 570	 1.40 kg (3.09 lb) 1.47 kg (3.24 lb)

環境仕様

高度 (平均海面以上) 動作時 保管時	 0 ～ 3000 m (0 ～ 10,000 ft) 0 ～ 15 000 m (0 ～ 50,000 ft)
温度 動作時 保管時	 0 ～ 40ºC (32 ～ 104°F) –15 ～ 65°C (5 ～ 149°F)
湿度 動作時 保管時	 0 ～ 95%、結露なし 0 ～ 95%、結露なし

出力電圧

電圧	12 VDC または 24 VDC
電流 A-Link 24V (Rack Monitor 450/550) A-Link 24V (Rack Monitor 570)	12 V および 24 V 負荷の場合は合計で 75 mA 560 mA 1000 mA

適合規格

電磁波耐性 / 放射	CE、C-UL (CSA C22.2 No. 60950-1-3 に準じてテスト済み)、 UL 60950-1、FCC パート 15 クラス A、 ICES-003 クラス A、VCCI クラス A、 EN 55022 クラス A、EN 55024、EN 61000-3-2、 EN 61000-3-3、AS/NZS CISPR 22、 VDE (EN 60950-1 に準じてテスト済み)

センサーの仕様

Temperature Sensor (AP9335T)

温度の精度	±3ºF (±2ºC)、32 ～ 104ºF (0 ～ 40ºC)
センサーの動作温度	14 ～ 159ºF (–10 ～ 70ºC)
ケーブルの最大長	15.2 m

Temperature/Humidity (AP9335TH)

温度の精度	±3ºF (±2ºC)、32 ～ 104ºF (0 ～ 40ºC)
湿度の精度	±4% RH、20 ～ 90% RH、77ºF (25ºC) の場合 ±8% RH、30 ～ 80% RH、59 ～ 95ºF (15 ～ 30ºC)
センサーの動作温度	14 ～ 159ºF (–10 ～ 70ºC)
ユーザー入力の応答時間	200 mS
ケーブルの最大長	15.2 m

保証

2 年間の工場出荷時保証

本保証は、購入した製品をこのマニュアルに従って使用した場合にのみ適用されます。

保証の条件

APC は、お客様の購入日から 2 年間、APC 製品の原材料や作業工程に欠陥がないことを保証します。APC は、本保証の対象になる欠陥製品を修理または交換します。その他の損害、たとえば事故、過失、操作誤り、または製品の改竄などによる損傷に対しては、この保証はいっさい適用されません。欠陥製品やその部品を修理または交換しても、元の保証期間は延長されません。本保証に基づいて提供される部品は、新品または工場- 再生品です。

譲渡不能な保証

本保証は、製品を正しく登録しているご購入者にのみ適用されます。製品の登録は、APC の Web サイト (**www.apc.com**) で行うことができます。

保証除外事項

APC は、申し立てられた製品の欠陥が APC のテストまたは調査の結果存在しないと判明した場合、またはエンド ユーザーや第三者の誤用、過失、不適切な取り付け、またはテストに起因するものであることが判明した場合、本保証に基づく責任を負いません。さらに、不正または不適切な電圧や接続を無許可で修理または変更した場合、不適切なオンサイト動作状況、腐食性大気、修理、取り付け、風雨、不可抗力、火災、盗難、APC の推奨事項や指定に反した取り付け、APC シリアル番号の改竄 / 汚損 / 除去、使用目的の範囲を超えるその他の原因については、本保証に基づく責任を負いません。

この契約に基づき、またはここに記載された内容に関連して購入し、サービスを受け、設置した製品に対し、法律の運用その他により明示的または黙示的に適用される保証事項はありません。**APC** は、製品の市場性、満足度、特定の目的に対する適合性に関するすべての黙示的な保証について責任を負いません。本製品に関して **APC** が提供する技術面またはその他のアドバイスやサービスによって **APC** の明示的な保証が拡大、縮小、または影響を受けることはなく、またこれらのアドバイスやサービスからは義務も責任も生じないものとします。上記の保証および賠償は排他的であり、その他のすべての保証や賠償に代わるものです。上記の保証が当該保証の不履行に対する **APC** の唯一の責任であり、購入者の唯一の法的救済です。**APC** の保証は購入者にのみ適用され、第三者に適用されることはありません。

いかなる場合も、製品の使用、サービス、または設置から生じたいかなる間接的、特殊、結果的、懲罰的損害についても、契約の記述または不法行為のあるなしを問わず、過失または厳格責任に関係なく、**APC** が事前にそのような損害の可能性について報告を受けていたかどうかに関わらず、**APC**、その役員、重役、支社、社員はその責任を負わないものとします。**APC** は利益の損失、設備の損傷、設備の使用不能による損失、ソフトウェアの喪失、データ喪失、代替費用、第三者の主張など、いかなる損害に対しても責任がないことをここに明言します。

APC の販売担当者、社員、または販売代理店は本保証の条項を追加または変更する権限はありません。保証の条項は、たとえ変更される場合も、**APC** の役員と法務部の署名により書面によってのみ変更可能です。

保証の請求

保証を請求する場合は、APC の Web サイトのサポート ページ (**www.apc.com/support**) から APC カスタマ サポート ネットワークにアクセスしてください。該当の国のページが表示されない場合、Web ページの上にある [変更] ドロップダウン メニューから該当の国を選択します。[サポート] タブを選択すると、お住まいの地域のカスタマ サポートの連絡先を確認できます。

無線周波数妨害

担当機関による明示的な承認を受けずに本製品を改変すると、ユーザーによる本製品の運用権が取り消される可能性があります。

USA—FCC

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment.This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with this user manual, may cause harmful interference to radio communications.Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference.The user will bear sole responsibility for correcting such interference.

After an electrostatic discharge (ESD) event, the appliance may require up to 2 minutes to restart services that are necessary for normal operation.During this time, the Web interface of the appliance will be unavailable.If any necessary services or devices external to the appliance, such as a DHCP server, were affected by the ESD event, these devices also need to restart properly.

Canada—ICES

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

日本—VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準
に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波
妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ず
るように要求されることがあります。

Taiwan—BSMI

警告使用者：
這是甲類的資訊產品， 在居住的
環境中使用時，可能會造成射頻
干擾， 在這種情況下，使用者會
被要求採取某些適當的對策。

Australia and New Zealand

Attention: This is a Class A product.In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility.APC cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from an unapproved modification of the product.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A Information Technology Equipment according to CISPR 22/European Standard EN 55022. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide a reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Attention: This is a Class A product.In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Schneider Electric IT ワールドワイド カスタマ サポート

本製品の無料カスタマ サポートは次のように提供されています。

- SEIT の Web サイトにアクセスすると、Knowledge Base の資料を参照したり、カスタマ サポートへの要望を送信したりすることができます。
  - **www.apc.com**
    特定の国の情報については、ローカライズした Web サイトにアクセスしてください。それぞれのページにカスタマ サポート情報があります。
  - **www.apc.com/support/**
    グローバル サポートには、Knowledge Base および esupport -があります。
- カスタマ ケア センタには電話または E-mail でお問い合わせいただくこともできます。
  - 地域、国別のセンタ : 連絡先の情報については **www.apc.com/support/contact** にアクセスしてください。

  お住まいの地域のカスタマ サポートについては、Schneider Electric 製品をご購入いただいた Schneider Electric 営業担当者または販売店までお問い合わせください。

990-3291F-018 7/2014